

科目名称	哲学	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 前期	1	30
担当教員	森川 孝吉	授業に関わる実務経験	<input type="checkbox"/> 有 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 無	

**【1】 授業概要**

人が互いに深く関わりあうために必要とされる感情、共感や愛について理論的に深めるとともに、社会人として互いを律する正義の本質、さらには人間の生死を通じた本質を探る。

**【2】 学習目標**

1. 人間の価値観、生命及び尊厳について理解する。
2. 人間としての存在・生き方・自我などについて学び、自己洞察を深め、自己の人生観・死生観をもつ。
3. 物事の原理や本質を追究することで、思考力を養う。

**【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性**

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

**【4】 授業計画**

	内容	主な授業形態
1	人間存在の本質と他者(1)	講義
2	人間存在の本質と他者(2)	講義
3	人間存在の本質と他者(3)	講義
4	他者への関心(1)	講義
5	他者への関心(2)	講義
6	他者への関心(3)	講義
7	他者への関心(4)	講義
8	公共性と私(1)	講義
9	公共性と私(2)	講義
10	公共性と私(3)	講義
11	環境倫理(1)	講義
12	環境倫理(2)	講義
13	環境倫理(3)	講義
14	まとめと振り返り	講義
15	試験・まとめ	

**【5】 評価方法**

教場試験の結果を基本とするが、課題レポートの出来を加点評価として加えることがある。

**【6】 教科書**

なし。原則として毎回配布するプリントを基礎教材とする。

**【7】 参考書**

- A.スミス『道徳感情論』,村井章子ほか訳,日経 BP 社、  
E.フロム『愛するということ』鈴木昌訳,未来社、  
J.ロールズ『正義論』川本隆史ほか訳,平凡社、  
A.セン『正義のアイデア』池本幸生訳,明石書店、  
M.サンデル『これからの正義の話をしよう』鬼澤忍訳,早川書房、  
『水戦争の世紀』鈴木主悦訳,集英社新書、  
ソルニット『災害ユートピア』直江清隆ほか『災害に向き合う』,岩波書店  
Richard L.Parry, Ghosts of the Tsunami, 2018, Vintage

**【8】 受講生へのメッセージ**

毎回、講義終了前 5 分程度を使ってその日の講義についてのコメントを書いてもらう予定  
理解度などを考慮して、上記進行予定は変更することがある。